



台風被害(木江地区の高潮)



9月定例会/目次

編集後記

16

一般質問

4
15

台風被害状況

3

決まった主なこと

2

おおさきかみじま
議会だより

第6号/2004年11月5日

大崎上島町議会

☎ (08466) 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX (08466) 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail: gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

9月定例議会

平成16年度9月議会は9月21日から9月30日までの会期で開催しました。
町長の定例会での説明を受け、活発な論議を展開し、提案された議案は原案どおり可決しました。

9月定例会で決まった主なこと

補正予算 4 億 2 千 8 百万円を追加

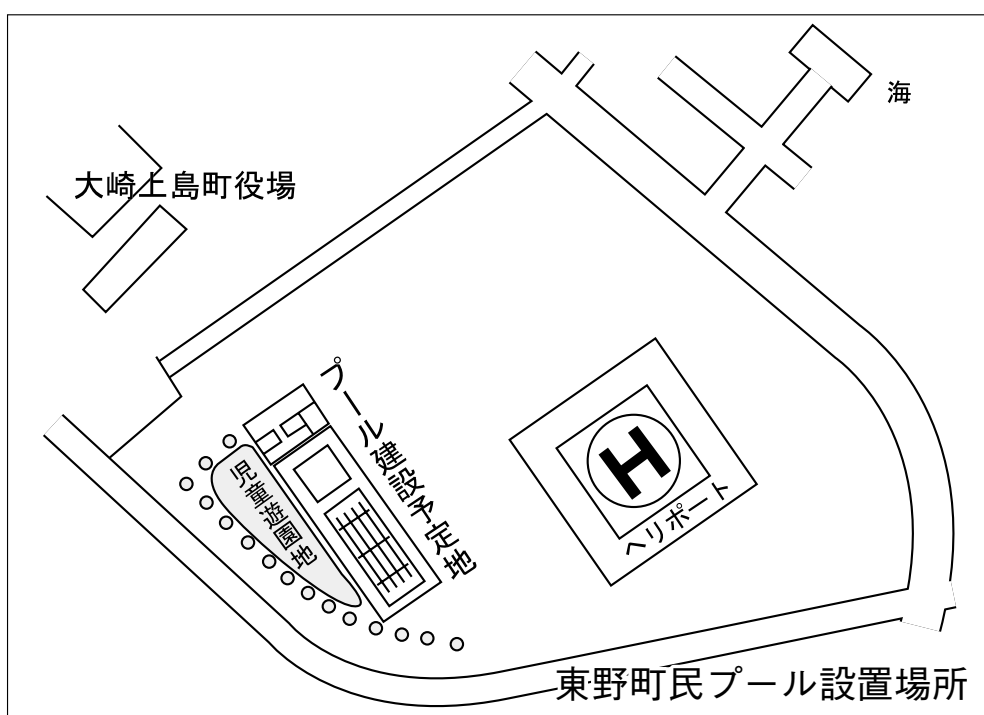
意見書

- 義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書
- 郵政民営化に反対する意見書
- 地方への負担転嫁を許さず真の三位一体の改革を求める意見書

決議

- 住民参加による町政の促進を求める決議

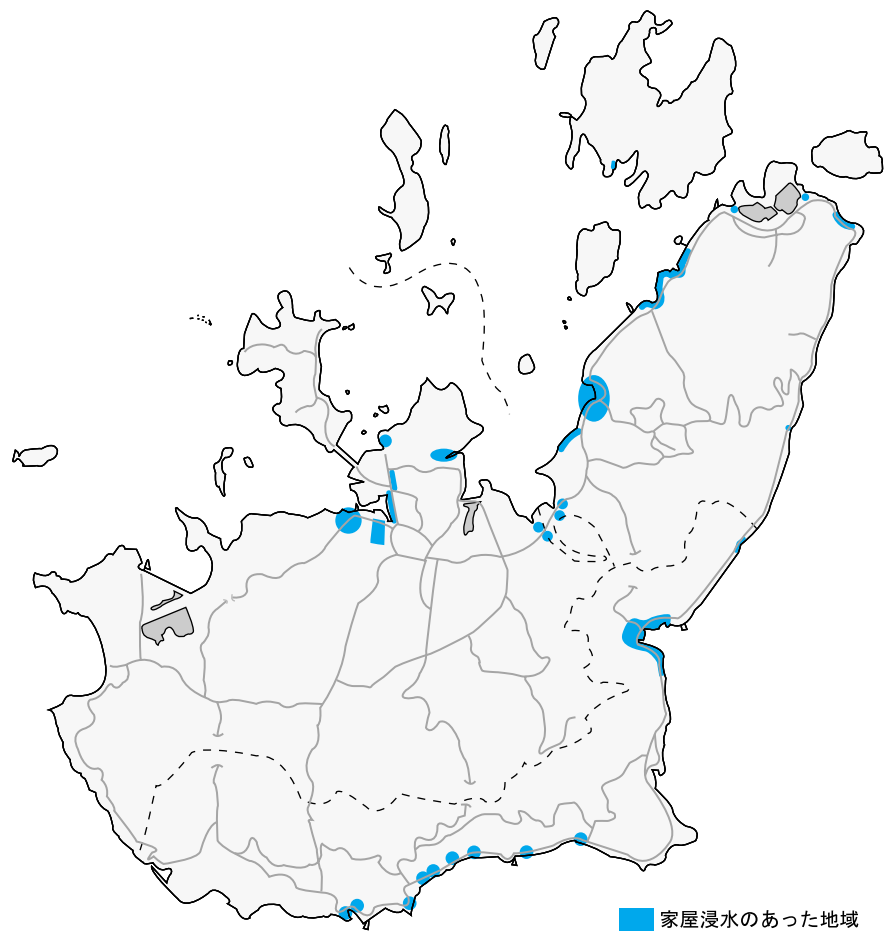
全員協議会で決まったこと



地 区	台風16号		台風18号	
	床下 世帯	床上 世帯	床下 世帯	床上 世帯
外 表	2			1
鮎 崎	26	4	23	4
垂 水	2			
古 江	13	6	13	6
盛 谷	57	12	69	
白 水	34	8	40	
矢 弓	22	10	7	
大 田	3			
脇之浦	2	3	1	1
生野島		1		1
小計	161	44	153	13
東原下	2			
原 下				
片 浜				
大 西	40		19	
向 山	26	1	3	
大 串				
小計	68	1	22	0
岩 白	20		16	
宇 五	4			
港	24		17	
栄通り	21		16	
郷	31	33	38	13
天 満	58	6	69	5
野 賀				
上の谷	4	1		1
中 浜	8	3		
木 越	21	1	3	1
三里浜	10	1		
向 浜	13		3	
本 浜	27	4	9	
小計	241	49	171	20
合計	470	94	346	33

台風16・18号による 町内の被害状況

お見舞い申し上げます



台風16号18号の農業被害（万円）

施 設 名	作 物 名	被 害 額
	柑 橘	21,575
	水 稻	98
施 設 ハ ウ ス		1,280
施 設	ト マ ト	500
	キ ュ ウ リ	
	イ チ ゴ	
合 計		23,453

町政を問う

問 中学校統合問題は

答 議会議決は遅くとも18年3月までに



くまさ たかのり 議員
熊佐 尊徳

質問（熊佐議員）

中学校の統合の必然性は当然で三町合併の大きなメリットの一つと考えております。教育委員会では平成22年目標となっております以下7点についてお尋ねします。

- ①教育委員会としてはどの時点で決定するのか。
- ②議会議決はいつ行うのか。
- ③統合の議論の中で一番の課題である交通手段をいつ決定して、いつ保護者に説明するのか。
- ④大崎海星高校との中高一貫教育と設備等についての協力関係は。

- ⑤統合までの大崎中の危険校舎での教育環境について。
- ⑥6月定例で町長は保護者の不安を整理する時間が必要としているがどの様に努力して整理するのか。
- ⑦西野小学校の統合についての考えは。

答弁（町長）

- ①21年統合という考え方は決定しているが、正式決定は大崎上島町立学校の設置条例の改正が決定した時点。
- ②議会議決は遅くとも平成18年3月までに改正を。
- ③交通手段は早い時期に案を策定して保護者と協議。
- ④連携型の一貫教育と協力関係について高校と議論。
- ⑤色々な取り組みが考えられるが難しい問題があり統合までは現状で。
- ⑥条件整備を提示して一日も早い保護者の理解を。
- ⑦早急にゼロ歳児から西野

小学校6年までの保護者に統合についての意向調査を。

問 少子化、若者定住対策は

答 若者と子育てに優しい環境整備を

質問（熊佐議員）

少子化、若者定住対策は島にとって一番の政策課題だと考えます。今日までの国、県、町の政策は高齢者政策に軸足が大きく向いていたと思います。全て否定はしませんが高齢者の生き甲斐、健康、喜びは若者と一緒に住めることの方がはるかに大きいと思います。町長として、その対策について具体的な考えをお尋ね



木江幼稚園児

します。私としては強力な若年者育成条例を作り、子ども達が多く育てられる環境と職場の確保、教育、医療、交通等の充実と合わせて早急に醸成することが緊急課題と考えております。

答弁（町長）

県も子育ての整備をだんだん重要視し、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定したので、この上島地域に適合する事業を積極的に取り入れたい。定住促進条例を旧木江町時代に策定して行ってきたが、色々な問題があつて新町には引き継いでおりません。子育てしている人の経済的負担を軽減するべき施策を検討してみたいと考えます。



問 質 一般

問 護岸排水溝蓋の整備は

答 一部完了した箇所はある



はなと つゆこ 議員
鼻戸 露子

質問（鼻戸議員）

護岸排水溝蓋の不整備のため今回の台風で、床上・床下浸水となり、大変残念な状況になり一刻も早期の整備を行い住民が安心して生活できるよう望むが。

答弁（町長）

海岸保全施設の中で県の方も順次進めている実態はあります。一部昨年の質問後に完了した箇所もある。

再質問（鼻戸議員）

県土木は平成16年度予算に計上していると言うが

問 台風災害は

答 災害復旧費で措置を進めます

質問（鼻戸議員）

今年は早々より大雨、台風到来、中でも台風16号・18号と立て続けに災害を受け復旧の目途については。

答弁（町長）

台風16号・18号については、町の公共施設集会所等一部破損、窓ガラス、公園内の倒木等2千数百万円の復旧費が掛かるのではというふうな状況である。復旧費の費目で措置する。

再質問（鼻戸議員）

台風直後職員の重点的な町内の見回り等については。

再答弁（町長）

本庁、各支所に詰め勤務。職員を主体にして、本庁から各支所へ、災害現場へと行って被害状況の把握と確認と軽作業等を行い対応する。福祉関係については、職

員では手が回らず付近の方々にお手伝いを願った経緯がある。

再々質問（鼻戸議員）

台風で町内に断水、停電状況をテレビ、新聞等の報道で知り、その前になぜ町内防災放送で周知されないのか。これぞ宝の持ちぐされとはこのこといかがですか。

再々答弁（町長）

詳しい情報を皆さん方にお知らせ特に被害地域には早く知らせることが大切だと思いい今後取り組みたいと思っています。



木江地区の高潮被害

問 今後のコミュニティバスの運行は

答 軌道に乗るところまでいつていない



三谷 良持 議員

乗るところまでいつておりません。

再質問（三谷議員）

4 条バス路線（現行）は民間業者が運営（国・県・町も補助）しているわけですが、住民の皆さんが便数、時間帯、アクセス等々の問題で不満を持っていて利用するにはぎりぎりのところまできています。実際、そういった問題解消のために、建設計画でコミュニティバスについてかなり議論してきました。業者も町の中で事業をして現状は把握されていると思います。

町長の町づくりの熱意をもって協力の要請とか、話し合いはされましたか。

再答弁（町長）

この地域で運行をされている事業者にもこの島内の住民の方が従業員としてかわつておられます。その企業に撤退を行政側の方から向けることはするべきではないと思います。

答弁（町長）

費用の問題とか効果の問題とか色々あって、それが軌道に

問 災害時の出勤態勢は

答 基本は崩すべきではない

質問（三谷議員）

災害時の出勤態勢としては、地域の中での危機管理体制が必要で。

それには、公務災害もあり得ますので、各地区の状況を把握している区長に消防団への出勤権限を与えてはどうでしょうか。

また台風時の緊急医療体制は確立しているのか伺います。

答弁（町長）

それぞれの地区からの要請があつて、消防の出勤命令を受けて団員が活動するという基本は、やはり崩すべきではないと思います。管内の二次救急圏とか色々の仕組みの中で、医療にかかわつての連絡協議会があります。今回の教訓等を含めまして話してまいりたいと思います。

問 高潮被害対策にどう取り組むのか

答 対応可能なところから早期な完了に努める



尾尻 公雄 議員

質問（尾尻議員）

高潮による被害が2度3度とあり、これでは安全で安心して暮らせる町とはいえないのではないかと。避難場所の周辺が水没していたがこれでは用をなさない。

答弁（町長）

13 年前の被害以降それぞれの地域で取り組んで参りましたが、すべて完了しきれていない大きな課題もありました。対応可能な場所が未整備で残っているところは、行政の責任において早期に完了させていくことは義務であり、その取り組みを補正予算でも提案させていただきます。

従来からの指摘箇所への対応の遅れから被害が出たことになれば、一部職員側の怠慢による人災ということに結びついて参りますのでそのようなことのないように努めます。

問 本町の危機管理は

答 防災計画等を作成しており、最終段階に入っています



ふくま すすむ 議員 福増 進

質問（福増議員）

まず、先日立て続けに台風が本町を襲い、甚大な被害を受けられた方々に、お見舞い申し上げます。

今回の台風への対応についてもそうですが、本町の危機管理や防災計画並びに警戒態勢と住民への連絡体制等のマニュアルの作成はどのようなになっているのか。お伺いします。

答弁（町長）

災害における危機管理体制制での災害対応の防災計画は、現在作成中であり、最終



消防大会

段階に入っておりますが、県の方と協議を重ね、若干の手直しの部分があると想定しております。基本的には、災害対策基本法により、それぞれの町で防災会議等を行い、災害対応と応急対策を含めて、どういう組織でどういう計画をそれに当てはめていくかということで作成してきております。当然それにかかわり、火災防止、水防については、消防団と連携を取ることにも必要ですし、地域の方々にも協力いただき状況の把握を行い、対応対策を実施していくこととしています。

問 町の振興策は

答 町に住んでいる人の知恵を生かすべき

質問（尾尻議員）

町の振興策にフェリー運航のための長島港湾整備をすべきではないか。このことが何よりの町の振興策ではないか。また、町の田畑が荒れるに任せているようでは島の元氣、繁栄はないのではないと思う。町の発展は町の人々の知恵によりみんな

物を作り育てる氣風が今こそ求められているのではないか。他力本願、広島県が国がこんな事ができると行つて来るまで待つているようでは活力は生まれない。同僚議員の質問にもなるほど思えるものもありましたが、質問のやりとりで終わり、あまり取り組みをし

問 区から要望への対応及び優先基準は

答 緊急性と公平性を持って対応している

質問（福増議員）

三町が合併する前は、来

年度予算の枠組みを作成する段階において、町内の各区長に対しヒアリングを行い、各区の要望等も参考にし、予算編成をしてきた経緯がありました。現在では、ヒアリングも実施しております、要望書の提出等も行っていない状況です。予算の枠組みを作成する際の優先

基準等はどうのようにされているのかお伺いします。

答弁（町長）

新町となり、各区長と予算前の要望のヒアリングというのは行っておりませんが、要望書はそれぞれ担当の区長が私の方へ、提出されてきております。その中でどう対応するかですが、道路のくぼみ、アスファルトのはがれ等、

ているように思えない。もう少しご検討をされたいかがでしょうか。

答弁（町長）

離島振興計画、過疎地域自立促進計画の平成17年からの後期の5カ年の取りまとめ作業に積極的に取り入れていきたい。

それぞれの地域は地域に住んでいる人達が自分たちの知恵を働かせ、自己決定したものを自己責任で対応していくのが基本であるので、そのような意識のもとに地域づくりを進めてまいります。

放置しておく危険が生じる要望箇所は、速やかにできる所はすぐ対応しております。要は緊急性と公平性を持って対応していきたいと考えております。私が一番大切に考えておりますのは、検討しますとか協議しますでは無責任な答え方だと思いたすので、行政が信頼していただける気持ちで説明責任を果たしていきたいと思えます。

問 全世帯接続計画は

【答】 鋭意検討中です



中村 修司 議員

質問（中村議員）

巨費を投じて光ファイバーが敷設されていますが、加入者の状況、今後の加入予測がどう推移しているか伺いたい。また、全世帯接続計画が検討されてきましたが、取組みの経過と今後の事業計画について伺いたい。

答弁（藤原町長）

8月末での加入者は549件です。現在、月5～6件の新規加入があり、今後多くの加入は見込めません。町内のテレビ難視聴地域の解消と防災告知、健康管

理の緊急通報などを目的にして、全世帯接続を検討しています。もう少し総合的な研究が必要です。

再質問（中村議員）

かなり以前からの計画が、いまだ具体的事業計画となっていない事に疑問を感じています。町長の政治姿勢として、実施するならば実施するとの決断が必要では。

再答弁（町長）

せっかくの施設ですから、全世帯に接続し相互通信が出来る事を前提に考えています。ただ、加入者負担の問題もあり、抵抗感のある方もかなりおられる事を含め検討します。

問 密漁対策の確立を

【答】 最大限の努力を要請

質問（中村）

管理型漁業が推進され、漁礁の設置・稚魚の放流が進む中、「密漁」が巧妙化・悪質化・高速化の中で横行している現実があります。行政・漁協・海上保安部が定期的な連絡会議を設置し、有効な監視体制を確立出来るよう早急な取組みを。

答弁（藤原町長）

木江地区の位置関係から、愛媛県側の密漁は厳しいものがあり、密漁対策の必要性は全く同感です。

海上保安協会の中で、呉海上保安部には、そのつど最大限の努力をお願いしています。また、今年度より、私が、漁業調整委員になっておりますので、委員会に

問 住民避難勧告は

【答】 出していません

質問（中村議員）

今回の台風で、住民に対し避難勧告が行われたのかどうか。避難勧告を出す判断基準はあるのかどうか。

また、恒常的な高潮対策にかかわっての具体策はどのように考えているのか。以上、伺います。

答弁（藤原町長）

避難勧告は出していませんが、自主避難の相談に対して、公共施設の紹介を行っていません。恒常的な高潮対策は、海岸保全施設の高さを、4・5mから5mに改善されてきた事が挙げられます。

再質問（中村議員）

台風の通過と満潮時が1時間ずれた事で、潮位表と50cmの誤差で収まりました

答弁（浜田農林水産課長）

密漁対策につきましては、内浦漁協組合長・上島漁協組合長の意向を聞きながら進めます。

においてもお願いしていきます。



矢弓港

が、本来、避難勧告が必要な地域が存在したのではないでしようか。

再答弁（町長）

今回は、19号台風の経験から、そこまでは行かないだろうという考えがあり判断しました。しかし、もう50cm上がるとなれば、寝たきりの高齢者など対応を含め、今後の検討課題として防災計画を定めて行きたい。

問 計画的に高潮対策を

答 海岸保全や招き扉を設置



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

応用し逆流防止筒」掲載。
これの応用を考えるべき。
②高齢化が進んでいるなか
量を上げる等の災害時にお
ける協力体制や周知は。
③台風による廃棄物の取り
扱いや周知の方法は。

答弁（町長）

台風により多くの方が被
災されお見舞い申し上げます。

国土交通省などは高潮防
災対策と災害予測地図の作
成を市町村に指示している。

高潮対策で排水管に海水
逆流防止の招き扉の取り付
けや護岸の嵩上げ、また土
嚢を積んで置けば被害を食

い止められた。13年前の台
風19号以降、住民からの要
望について改修は。たとえ
ば大西地区岡本食料品横や
川本接骨院横は20数年前か
ら要望を出している。

中国新聞に「連通管原理

②台風18号はここまで上
がらないと思っていたが少し
判断が甘かった。救援活動
は地域の人に協力をお願い
する。
③廃棄物の出てくる量に応
じて対応する。



招き扉

問 災害時の危機管理は

答 大崎支所に自家発電を

質問（赤松議員）

台風による停電によりイ
ンターネットや大崎支所の
電話が通じなかった。災害
時に難場所になっているの
で非常時における役場の本
庁・支所等の設備や管理体
制についてどのようなになっ
ているのか。

ある。大崎支所に自家発電
を検討する。インターネッ
トの使用は中電と協議する。

答弁（総務課長）

自家発電の発電容量と使
用できる機器は把握してい
ない。

再質問（赤松議員）

危機管理がなっていない。
電気等は調査すべき。

答弁（町長）

木江支所と文化セン
ター・本庁には自家発電が

問 建設計画の実施を

答 重要性は理解する

質問（赤松議員）

住民説明会で約束した病
院建設等約束した事につい
て守るべきでは。

病院が出来ない理由とし
て地元の医師や腎友会と話
し合いもすべきでは。

答弁（町長）

耳鼻科は保健センターに
診療スペースがあるか、建
設時の補助金を調整して問
題を解決していきます。

財政は町のホームページ
や議会広報に掲載して概要
は町民に見ていただしてい
る。医師会や腎友会と機会
があれば話をしたい。

再質問（赤松議員）

政治家は公約を守るべき。
そうしないと政治不信を招
く。議会で聞きっぱなしで
はいけない。

再答弁（町長）

建設計画の重要性は理解
している。将来の財政負担
を考え、行政を進める。

問 台風による災害対策本部を設置したのか

答 災害警戒体勢の配備をしました



信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

- ① 災害対策基本法に基づき対策本部を設置したのか。
- ② 消防団との連絡・連携はうまくいったのか。
- ③ 災害対策緊急電話を確保できたのか。
- ④ 台風災害時の救済・避難対策をしたのかどうか。
- ⑤ 台風で出た産業廃棄物の処理について。
- ⑥ 停電時の下水道のポンプアップ対策について。
- ⑦ 防災無線は、停電時に利用できるのかどうか、把握していたのか。

答弁（町長）

- ① 災害対策本部の設置をせず、警戒体制の配備をしました。今後も体制整備を進めていきます。
- ② 消防団の出動は旧町で違っていたので統一的災害対応を早急に検討していきます。
- ③ 緊急電話は確保しました。
- ④ 巡回相談員に委託をして、大雨、台風前に注意を呼び掛け指導・助言をしております。
- ⑤ ゴミの処理方法が各地区で違っていました。14日の放送は誤解を招きましたが、従来どおり電化製品は回収しております。
- ⑥ 台風を教訓にして、非常時における体制を発電機を含め体制を整えていきます。
- ⑦ 掌握できてなく、今後、放送を一本化して対応に遺漏ないように早急に解消していきます。

問 農業後継者と農地銀行の現状と今後の展望は

答 農地銀行選定委員会を設立して幹旋活動をしています

質問（信谷議員）

今回の台風で塩害とか、農作物園芸施設ハウスの被害に対して補助制度、支援対策はないのか。また、農地銀行の現状と今後の展望について。

答弁（町長）

風水災害の補助制度はありませんが、金融面での

支援対策はあります。具体的には農業振興資金、農業経営維持安定資金などの災害関係利子補給事業などを活用していきます。

農地銀行については、遊休農地の有効活用が重要課題となっています。農地銀行設置委員会を設立して、農地登録を町民に呼び掛け、幹旋活動を継続強化しています。

問 非常用発電機は、本庁・支所に設置していますか

答 非常用と携帯用の発電機があります

質問（信谷議員）

災害時における役場は町民全体のライフライン・生命と生活権の根本なので、非常用の発電機は絶対に必要だと考えますが本庁・支所に設置していますか。

答弁（町長）

東野庁舎と木江支所には、停電に応じて対応できる非常用発電機はありますが、大崎支所は携帯用の発電機で対応しました。今後、自動対応発電機は必要だと考えています。

問 東野地区の船の座礁対応は



施設ハウスの被害の状況

答 避難と生活復帰の確認をしました

質問（信谷議員）

東野地区に座礁した船会社とどういう話し合い対応をしているのか。
明け方の町内放送とか道路封鎖をして町民に迷惑をかけたのでどのようなアクションをしているのか。

答弁（町長）

住民の避難と、生活ができる状態に復帰できる確認はしましたが、会社のほうからは正式なアクションはありません。

問 今後の高潮対策は

〔答〕 順次進めて行きたい



まさ した あつ お 議員
時田 篤雄

質問（時田議員）

先日の台風16号・18号により床上、床下浸水された住宅が台風16号で564戸、18号で379戸ありました。町内の1割以上の方が被害を受けております。13年前の台風19号と同じ被害場所がほとんどあり、台風19号の高潮の教訓が生かされず、ほとんど改善されていないのが現状です。被害に遭われた町民の皆さんは、いつ台風、高潮が来るか非常に不安を感じています。今後の高潮対策を積極的に進めていくべきと思いますが、町長の考えを伺います。

答弁（町長）

町のできる部分、県にお願いしなくてはならない部分、そういう所を精査し強力に進めたいと思います。

再質問（時田議員）

ここ10数年で潮位が平均で約19cmほど上がっています。台風ではなく秋の大潮の時期に床下浸水している所も出てきています。排水路から逆流して被害に遭っています。今回の被害を教訓に徹底的に調査し、排水路の逆流をいかに止めるかということを考えるべきだと思いますが。

再答弁（町長）

止めることによって2次災害を経験したことがあり、そう言うことも含めて適切な対応を取って行きたいと思っています。

問 大串干拓の利用料が未徴収では

〔答〕 今後は明確な会計処理に努めます



もり かわ いえ だ 議員
森川 家忠

質問（森川議員）

平成15年10月1日より大串干拓地への島内残土の搬入に対する土地利用料を、町の発注する工事については無料、県の発注する工事については1³m³当たり50

0円を徴収する、ということだった。

しかし、県工事についての徴収がなされていない期間がある。

①この期間はいつから、いつまでなのか。

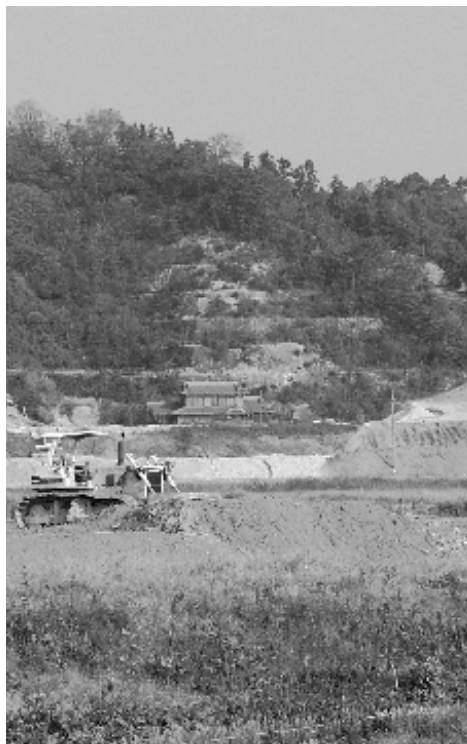
②この土量、金額は、どの位のものなのか。

③なぜ、このようなことになったのか。

以上、3点お尋ねします。

答弁（町長）

①平成15年度の10月から3



大串干拓地

月までです。
② 3、846³m³です。

③町が明確に県の方へ伝達することが、すべての担当者のところまで行きたつていなかったのかと思います。

再質問（森川議員）

私の知っている1件の工事だけで約4千³m³で、約200万円が未徴収です。おそらく、これ以上のものがあると思います。

あとは監査委員に、きちんとした対応をお願いしたいと思いますが、この財政難の時に、徴収できるものが徴収していないのは事務処理に大きな落度があったのでは。

再答弁（町長）

今年の4月1日付で、県の方へ通知を出し、訂正をしております。また、徴収できるものについては調整中です。

今後は、こういうことのないように、明確な会計処理に努めたいと思います。

問 台風対策は

〔答〕 関係機関と協議します



ながお まなぶ 議員
長尾 学

質問（長尾議員）

16号18号と大きな台風が大崎上島町に被害をもたらしました。木江地区では特に高潮によるものがかなりありました。台風19号の教訓が生かされてないように思います、今後どのようにしていくつもりか伺います。

- ① 消防団の出動は発令されたのか。
- ② 安心して避難できる場所を指示すべきではないか。
- ③ テトラポット、招きぶたの設置により、家屋への被害を少なくすることを。
- ④ 避難場所である長寿会館

沖のパラペットを現在の基準の高さにし、高潮による被害を最小限に。

答弁（町長）

- ① 団長の指揮命令で統一的に考えるべきで、消防団と協議していく。
- ② 地域の実態を含め、区長とも連携を取る。一番いいのは、近隣の中でお互い支援し合うことであり、町もマニュアルを作っていきたい。
- ③ 県と協議をし、可能な所から順次整備を進めていく。
- ④ 県へ要望していく。

問 個人情報流出防止対策は万全か

〔答〕 対策はとっています

質問（長尾議員）

マスコミ等で個人情報の流出が報道されていますが、流出に対する対策はなされているか。

- ① どのような対策をとっているのか。
- ② 流出事件が起きた時の罰則はどのように考えているか。

答弁（町長）

- ① パソコンにセキュリティをかけ職員も研修を含め、意識を持つよう対策をとっている。
- ② 犯罪行為であるから懲戒処分は当然である。

台風時の白水港付近



問 東野プールについて設置場所をなぜ変更したのか

〔答〕 東野出身の議員の意見を聞いてです



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

質問（渡辺議員）

盛谷埋立地に作る予定だった（町長談）のを、東野中学校テニスコート4面中2面を潰してつくることにいたった理由を、利便上及び経済上のメリットを含めて具体的な説明を求める。

答弁（教育長）

東野地区出身議員の「盛谷埋立地の活用については拙速に決定すべきではない」という一般質問を受け、地元東野出身の議員に聞いて回ったところ、多くの議員がそのような意見であった。そこで、設置場所を考

えていたら、テニスコートの利用が少ないとの判断により、当時の中学校の校長（他校へ転勤）への「テニスコート2面を潰してプールを作ったら、クラブ活動に支障があるか」との問いに、「現状では支障がない」との返答であった。プールの設置場所は、町有地ではこの2ヶ所しか考えられなく、地元の議員の多くがそのような考えであったことを重く見て提案をした。従って、利便上であるとか経済上のメリットを第一に優先したのではない。



盛谷埋立地

問 大串干拓に関する収支額、面積は

〔答〕 次の通りです



たにもと まさし 議員 谷本 昌

質問（谷本議員）

大串干拓の利活用の成否は、この島の将来にとって、最重要課題の一つだと考えます。今回は、干拓問題を中心に質問します。大串干拓に関する収支、面積の状況は。

答弁（町長）

面積は71万5883㎡、そのうち道路、排水路、調整池の部分は17万5583㎡です。

支出額は、土地関係費用が土地買収と若干の補償費を含め11億1123万円、裁判関係費用（平成8年度

問 度重なる台風を教訓にした台風対策を

〔答〕 質問を、具体化するように取り組む

質問（谷本議員）

①県道（職員はいない）、町道の復旧はどことが。

②台風状況の提供、復旧活動に伴うゴミの収集方法など迅速な防災無線の活用を。

③浸水家屋の排水対策に水中ポンプの貸し出しを。

④被災状況を早急に検討し、災害を最小限の食い止める

護岸対策（二階の屋根まで波のかぶった家もある）、

ゴミの進入防止策の立案。

⑤浸水家屋土地高上げ事業に補助制度がある、PRを。

⑥被災後本所、支所に日常

業務に係のある最小の職員を残しあとは現地で情報収集を。

答弁（町長）

①原則論だが、県道は県、町道は町が復旧していくとなっています。

②今後は万全の体制で放送を行います。

③色んなことを想定した根本的な海岸保全に取り組む

④100ボルトの電源でうまく行くか検討する。

⑤現在一件ある。

⑥最大限の努力をする。

答弁（町長）

①状況を説明していただいた程度で中身について突っ込んだ話はしていない。

②町の意思を伝え、専門家なので任せている。

③報告は一審を受けてのもので、話し合っていない。

答弁（町長）

周辺住民の方々の、納得のいくよう取り組むつもりだ。排水問題はとても大事だとは思う。土地の高さと排水池の調整を考える。

〔答〕 趣旨はわかるが、今すぐには行かない

質問（谷本議員）

①大串の皆さんと、ひざを交えた本音の話し合いをすべきでは。

②イ 旧道より埋立地を高くしない、2メートル埋めた時点で話し合うとの取り決めの意味。

ロ 中心部の水を集めない。

ハ 集落よりの水を神社側にも分水すべきです。

等考慮した排水計画を早急に立てるべきです。

③美浜荘前の小山の侵食防止策をはじめ塩風害対策を。

が4139万円、土砂搬入に伴う沈下対策工事 負担金2279万円、その他2303万円。

それに対して、収入額は土砂搬入に伴う収入が約1億5万円です。

問 大串干拓の最重要課題は、排水、塩風害対策、道路計画だと考えるが

問 大串干拓裁判は問題点を整理して取り組むべきでは

〔答〕 近いうちに二審判決があるので、その結果をもとに考える

質問（谷本議員）

①合併時、三町長でどのように話し合いましたか。

②町長は裁判に関して、弁護士を指揮する立場にある

と考えますが。

③旧大崎町時代に議会特別委員会の中間報告が出ていますが、議員と話し合った

ことがありますか。

問 一人暮らし高齢者の生活支援の充実を

【答】 色々な団体にお願いと啓発を進めています



まつもと すすむ 議員 松本 進

質問（松本進議員）

① 高齢化率は約40%、高齢者単身世帯は820世帯、18・8%の実情だ。高齢者への生活支援を充実されたいが。② 高齢者へ小まめに安否確認含めて、近所、区、民生委員、社協とも連携を持つ仕組みを考えてはどうか。③ 児童・民生委員の人数などはどうなるのか。研修の機会や、人権の学習強化研修は。

答弁（町長・福祉課長）

① 保健と福祉と医療の中で、健康に関しての活動を強化しています。緊急通報装置の設置で、救急車の出動をし

すが、主任児童委員が5名から3名に減ります。毎月1回定例会があり報告会、各種研修をしています。



台風で倒壊した堀

問 不足医療の対策は具体的に進んでいるか

【答】 検討の継続の必要性は十分わかります

質問（松本進議員）

町長は先頭になり動き、しっかりと職員に指示を出し、進化管理をすべきだ。

① 眼科の医師派遣事業はどうなっているか。② 耳鼻咽喉科の医師派遣については。③ 人工透析関係で医師会との話し、運営費の再度試算、問題点の解決策などとしてはどうか。職員の増配置、予算増も図られたいが。

答弁（町長）

① 残念ですが、眼科として診療するということには、まともありませんでした。② 耳鼻咽喉科については診療可能で、場所は庁舎の保健センターの一部で調整を図っています。③ ここに適合していない状態の経緯を踏まえて、先般来答弁してきたとおりです。

検討は継続してやっていく必要性は十分に感じています。

問 台風、高潮対策をどのようにしてきたか

【答】 行政責務の中で最大限努力してまいります

質問（松本進議員）

（※今回同じ質問が多く、重複部分は答弁省略。松本は2002年の木江町議会でも高潮対策の質問実施。）改めるは改めて災害時には迅速に的確な対応をし、生命・財産・地域を守るようにされたいが。

答弁（町長）

重複関係は改めて言いません。情報伝達や公開、住民への啓発も大切だと思います。当然私も行政は、行政としての基本的な責務という中で最大限努力してまいります。

問 町営住宅の問題、改善の取り組みはどうか

【答】 入居者の意向を尊重し計画的に進めます

質問（松本進議員）

① 災害に強い住宅や、高齢者・障害者に対応した住宅で段差解消など住みやすいものに改善と計画的改修を求めたいが。② 耐火構造の永年使用住宅で、壁の汚れ・雨のしみ込み・金具類のサビなど支障が出ている。早期改修をされたいが。（例、木江柿の浦住宅）

答弁（町長・建設課長）

① 現入居者の考えを大切にしながら、老朽住宅の解消と生活改善という意味での改修に取りかかります。② 従前の住宅は、バリアフリーになっていません。配慮をしてまいります。③ 修繕は、毎年度その予算の中で努めています。悪い所は取り組んでまいります。

問 東野町民プール建設は

答 来シーズンの利用に間に合うように建設する



もりわ けんじ 議員

質問（森若議員）

16年度当初議会において約1億5千万円の事業費が計上され、議会の承認を得たが、半年たった今でも事業の姿がいつこうに見えてこない。何故原因なのか伺いたい。次に建設については現在使用しているテニスコート2面を壊しその場所に建設すること。その場合には壊したテニスコート2面を他の場所に整備するのか。また、当初の計画どおりの場所にプールを建設したときには工事用道路は小中グラウンドを利用するのか。工期は何ヶ月必要なのか。また、新たに整備するテニスコート2面の建

設費用及び工事用道路の費用はプール建設の費用約1億5千万円には入っていないと思うが、その費用がいくら位必要と試算しているのか伺いたい。

答弁（町長）

当初計画していた場所について、それに携わっている色々な人々から異論が出て今日まで工事が遅れていました。計画通りの場所に建設するときにはグラウンドの一部を工事用道路として利用し工期は6ヶ月位必要と思います。

再質問（森若議員）

工期が6ヶ月位必要といわれましたが私に言わせれば7ヶ月位必要と思います。その間、計画の場所に建設となると、クラブ活動、少年野球等グラウンドを利用している人々に、大きな迷惑をかける。そのためにも私は建設場所を変更されるこ

とを望みます。

再答弁（町長）

建設場所については当初の計画を白紙に戻して皆さんがある程度納得する場所に私の責任で設置場所を決めます。

問 コミュニティバスについて

答 今年度末までには



ふじわら たつひで 議員

質問（藤原龍秀議員）

コミュニティバスはいつ結論を出すのか

答弁（町長）

今年の秋には現在の補助路線の収支が明かになり、来年度以降の補助も考えて、今年度末までにはつきりますと思います。

問 天満区の県道沖出しは

答 難しい状況ですが、早い時期で

質問（藤原龍秀議員）

木江天満区の県道沖出しはいつできるのか

答弁（町長）

宇浜地区の道路改良の目鼻がついたので天満地区へ計画が進むことになっていきます。ただ現在継続中のも

のもあり、新規採択については、税収が伸びず、国の2分の1の補助金も県の金額も縮小しています。

天満地区の海岸保全は機能していないので、難しい状況ですが、早い時期でとりかかるようお願いしていきます。

問 基礎基本定着状況調査は

答 細かな指導を進める

質問（藤原龍秀議員）

基礎基本定着状況調査の結果についてどう思うか。個人カルテなど具体的な指導としては。

答弁（教育長）

この調査は同じ学年がするのではないので、数字で評価はできませんが、結果をふまえて、一部の学校でやっている個人カルテをつ

くる取り組みをしている。今後そういう細かな指導を学校にお願いするつもりです。また、生活状況調査についても生徒・児童の生活習慣が学力に響いていると思っています。教育委員会としても、家庭の指導についても難しい面もありますので、学校の主体性も十分考慮しながら協議してまいります。

議員視察研修報告

10月4日～6日
岩手県遠野市・葛巻町

構造改革特区とクリーンエネルギーを視察

大崎上島町議会は岩手県遠野市の構造改革特区とケーブルテレビ、「ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち」葛巻町を10月4日から6日視察しました。遠野市は武蔵野市の友好都市で、構造改革特区を利用し、民宿で濁酒の製造（酒税法の特例）、農家の民宿開業（消防法の特例）、会社が市から農地を借り農業できる（農地法の特例）、小規模での新規就農（農地法の特例）など、規制緩和を行うことで地域の特性に応じた構造改革で「日本のふるさと」の町づくりを行っています。テレビ等で「どぶろく特区」として大きく取り上げられ、観光客が増加しました。

ケーブルテレビ

情報通信と在宅医療と農業支援のケーブルテレビを田園地域事業等で47億2500万円、8700世帯と700事業所を計画し、事業主体を遠野市の第3セクターで管理運営しています。

テレビ38チャンネル、ラジオ5チャンネル、告知放送、電話、インターネット、気象情報、医療支援を行い、TVは加入金6万円、宅内配線基工事約2万円、基本使用料3000円で5111世帯加入（加入率61%）。インターネットは最大1・5Mで3450円、1461世帯加入しています。農家109世帯にパソコンを貸与し、気象情報や野菜、畜産物の市場販売情報の利用を行っています。現在TVのデジタル化が行われる2011年に向け加入促進と機器の更新を検討しています。



遠野市のケーブルテレビ局にて

畜糞のバイオガス化発電

葛巻町は酪農の中心とした農業で発展した町です。現在では風力発電を核にクリーンエネルギーの導入を積極的に導入しています。

日本ではじめて標高1000Mに12基計210000kWの大型発電を03年、電源開発の出資会社が設置。畜糞のバイオガス化発電で地球温暖化問題に対応した行政を行い、家畜やワインで4つの第3セクターで17億円の売上、157人雇用しています。



山頂にある風力発電所を視察

編集後記

地球の温暖化が進み、暑い日が続く。9月に入ると毎日のように雨。

また、台風も16号、18号、21号とたてつづけに3回も我が町に被害をもたらし、被害に遭われた方々にはこの紙面を借りて、お見舞い申し上げます。

9月定例が終わわり、少しでも早く「議会だより」を発行したくて6名の委員で紙面づくりをしています。

この「議会だより」は町民の方に議会の活動を知らしめるものと思つて編集していますので、町民の方一人一人が目を通してくださる事を望んでいます。

